

熊本は酒どころ

—家内工業から近代的な工業へ—

酒 産 県

白玉の菌にしみとおる—酒のうまい季節になった。なぜ秋は酒がうまいか？それはひとつは期的に酒がうまくナレてくるためらしい。全国的にみて熊本県の酒はレベルが高い。というのは米がよいからで、菊池米矢部米は酒造米に好適、他県にも多く移出されている。(ツブが大きくて脂肪分の少ない米が理想的)

ところで酒の味覚は甘口と辛口に大別されているが、熊本県のそれは辛口が多い。それも県内の消費者の好みに応じるためつまり熊本には酒の通が多いということになるわけだ。

辛口、甘口の製法の違いは、もろみを完全に醗酵させると辛口となり途中で止めると甘口となるということだ。

「県産酒」とは、清酒、合成清酒、焼酎、赤酒、味淋をいう。昨年度県内で生産された酒の量は、およそ清酒五千五百キロリットル、合成清酒六千三百キロリットル、焼酎(甲)一万千六百キロリットル、焼酎(乙)球磨焼酎)三千五百キロリットル

この中で清酒の生産は近年一五%も伸びている。生産に対して消費は、清酒約一万五千キロリットル、合成清酒二千五百キロリットル、焼酎(甲、乙)一万一千キロリットルで、酒は五%、焼酎は四%の伸び。(以上は熊本国税局調べ)

ここで感じることは、清酒の場合、消費量に対して生産があるに切れぬというところ。県外に移出している反面、毎年相当の不足量を出している従ってその埋め合わせに県外から移入しているのが現状。

いま県下の醸造工場は二十二

戦前はもつと多かつたらしいが企業統合で、従来までの家内工業的経営から、より近代的、合理的経営に切り換えられてきた。

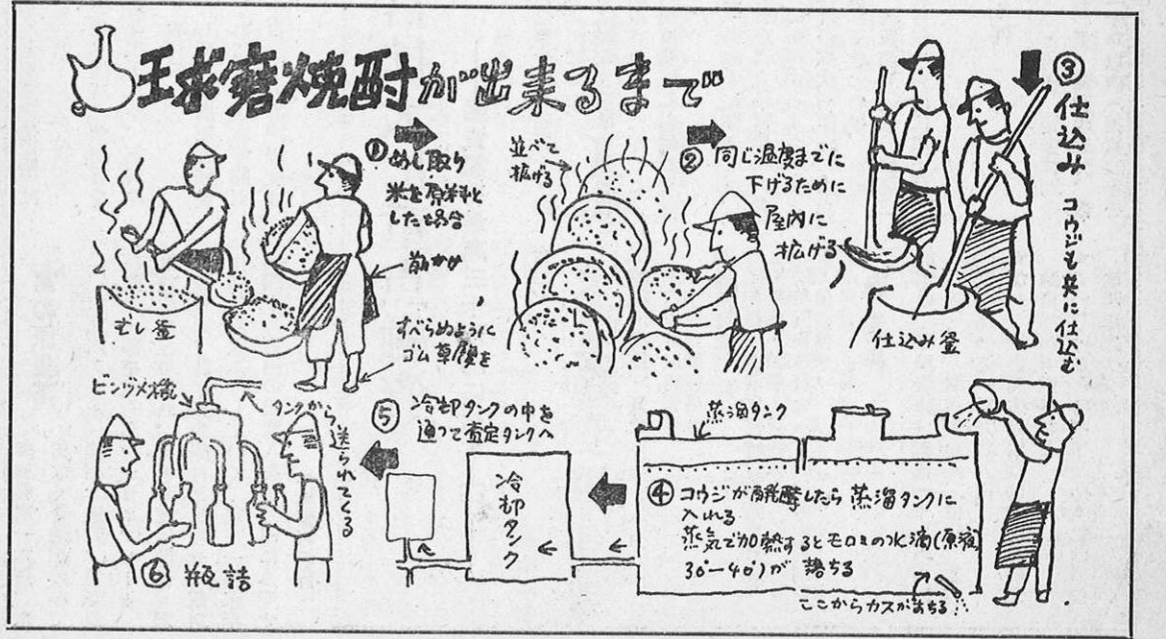
冷房装置で年間操業も昔から酒づくりは暑い時期は酒が腐るので、十一月から三月までの期間に限られていたが、最近では冷房装置により年間操業に踏み切る工場もみえはじめている。又酒自体も昔に比べればずいぶんと変つてきている。

熊本の酒の歴史はかなり古いらしい。明治末期頃からそれまでの赤酒(黄金色でネバリが強く濃味だった)が現在のよう清酒に改良されてきた。

風味ある球磨焼酎

球磨焼酎の歴史も古い。戦国時代(四百年前)琉球から入つたのが始まりという由緒。主な原料は甘藷と米。醸造で清酒が軟水(自然水)を使うのに球磨焼酎の場合は硬水(水の純度が低い)。人吉市を中心に球磨郡下で手広く生産されている。

球磨地方の一部には昔から視ごと等に茶碗で球磨焼酎を飲むという豪快な風習が残っている。



労働争議のマトメ役

地労委と いろいろ

荒木 誠之

〈熊大法文学部助教授〉

仕事をやっていると、いろいろ何とも感じないが、援助とつき合いをされる事務局職員の方々に、まことに相済まない次第である。

事件そのものは、どれもたいして大同小異だが、当事者間のふんいきと流儀はそれぞれ違つて、事件を処理する側は、一つ一つ新しい気持ちで取り組み、解決の方向といとぐちを見い出さねばならない。

争議の調整には、体力と忍耐力と説得力、それに一種の勘が必要であるようだが、どうも私にはそのいずれも具わつていないようだ。幸いすぐれた各委員の努力のおかげで、福岡をして熊本地労委の調整機能が果たされてきたと思

労使関係が軌道に乗つてくれることが我々の念願であつて、事件の結果に拘泥しているわけではない。

あつ旋や調停のような争議調

整も、不当労働行為の審査も、結局は正常な労使関係確立のための活動だからである。

(筆者は熊本県地方労働委員会公益委員)

朝帰りの委員会

時おり、何かの用事で夕方から外出しようとする、小学一年の子供が「労働委員会にいくの？」という。

労働委員会は夜に仕事をするものと決めこんでいるらしい。私は大学を卒業するまで、何十回か、学期毎や入学の試験を受けたことになるが、夜の一時すぎまで起きていたことはなかった。

ところが、地労委の委員に任命されて以来、労働争議のあつ旋や調停で徹夜は数知れず、朝帰り、があたりまえのような時期もあつた。

この頃はすつかり夜ふかしの癖がついて、十二時前に就寝しても一向に眠れないようになつてしまつた。

それでも、事件をほぐし解決するという興味と責任感から、

労使さまさま

地労委に労働争議の当事者や関係者としてあらわれる人々はその性格も違ひ、立居振舞も異なる。

もし組合幹部にでもなつたら強引な斗争をやつて、反対にワンマン社長になりそうな組合役員もある。

虚勢をはつてハツタリをかける人、淡々としてしかも自説をゆづらない人、相手方から人格的に尊敬される人があるかと思えば、その逆の場合もある。



後味悪い幕切れには、後味の悪い幕切れには、疲労や何やで口をきくのも大儀になる。

それはそれとして、事件が地

県内の秋まつり案内 (10月中の分)

期 日	行 事 名	場 所	期 日	行 事 名	場 所
10月1日 ~3日	お城まつり	全熊本市	10月13日 ~15日	菊池神社秋季大祭	菊池市
10月1日 ~11月30日	菊人形大会	熊本城内	10月14日 ~15日	八幡宮祭礼	大矢野町
10月3日	地藏まつり	宮原町	10月15日	火の神まつり	天水町小天神社
10月6日	若宮神社秋まつり	御船町 辺田見	10月15日	長洲秋まつり	長洲町四王子神宮
10月7日	六嘉神社大祭	嘉島村六嘉	10月15日 ~16日	菅原神社大祭	阿蘇町内牧
10月8日 ~10日	青井神社秋の大祭	人吉市青井神社	10月16日 ~17日	小国神社祭典	南小国村
10月9日	郡浦神社大祭	三角町	10月18日 ~19日	阿蘇神社祭典	田ノ浦町大字田浦
10月上旬	海の観月会	八代球磨川河口 沖	10月19日	西岡神社秋の大祭	宇土市
10月上旬	十五夜綱引き	日奈久温泉	10月28日 ~29日	繁根木八幡宮大祭	玉名市
10月13日	三神宮大祭	宮原町			